

# 作物の選定は何をするのか



米永 實議員

ごぼうなどが主な作物である。水利用の面では、町内二地区で実証ほや展示ほなどを取り組んでいる。

## 甘しよの奨励はしないのか

米永議員

広大な耕地に、安定した作物を選定し、安心・安全な農畜産物の生産体制を確立するためには、水利用を含めた農作物を選定し、推進することが、耕地の有効利用につながると思うが、どのような作物を選定するのか。

## 水を利用した作物を

町長

普通畑の主な作付状況は、飼料作物・甘しよなどであり、野菜については、大根・馬鈴薯・キャベツ・

で、甘しよを広く推進する考えはないか。  
**主要作物として推進**

町長

平成十八年度から畑かんが一部通水される。地域ごとの取り組みや、その結果については、ほとんどの作物が数量品質ともに向上しており、露地物では、甘しよ・大根・キャベツ・ばれいしよ・ごぼう・飼料、それにタバコの収益が高く、これらの農作は、共販体制も確立されているので、主要作物として推進できると思っている。

## 食農教育の実践方法は

米永議員

次代を担う子供達に、自然のなかで農業や食物を通して、物や命の大切さを理解させることなど、食農教育で色々な取り組みがなされている。週休二日の中で地域が一体となり、取り組むことが大切ではないか。

## 関係者一体で支援

町長

曾於地域においても、支援体制が整備され、次代を担う子供たちへ食を支える農について理解を深める、農林水産教室の開催や、親子加工体験の実施など、食農教育を推進することになっている。

## 学校・地域一体で取り組む

教育長

命を育む産業である農業の体験などを通じて、「生きる力・命の大切さ」知ることで、心豊かな青少年の

育成につながると思っっている。そのようなことから、地域・学校一体で取り組むことは大事なことを考える。



田植え風景（大崎小学校）

## 林道の改良舗装について

米永議員

町有林の火災発生にともない、開設された保安林道路は、今までの手付かずで、通行不能な状態である。海岸には備蓄基地があり、火災の危険性がないとはいいがたい。国定公園内

にあることから、整備すれば多面的な活用も図られる。  
また、景観上から見ても、早急な整備が求められている。隣接町においては、石油基地立置交付金により、完全舗装整備が終わっている。交付金はあるのか。整備はできないのか。

## 協議検討する

町長

山林火災が発生した際に開設された道路で、保安林の管理とあわせて防災道路としての機能をもたせるために、整備されたものである。東串良町は石油備蓄基地の関係で緊急避難と消火のためのもので、防災関係からできたものと考えているが、この松林が保安林内や国定公園内であることから、制約や作業許可・形状許可申請など期間を要するものと考えてるので、関係機関と今後協議検討する。